令和５年度　　３学年　保健体育科　年間指導計画・評価計画　担当［ 篠原・髙山 ］

教　科　の　目　標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
体育や保健の見方･考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康 を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質･能力を次のとおり育成することを目指す。 （1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康･安全に ついて理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。 （2)運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。 （3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を 目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また，個人生活における健康･安全について科学的に理解しているとともに，基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それらを他者に伝えている。また，個人生活における健康に関する課題を発見し，その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに，それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	単元当初での診断的評価を基に、学習の重点項目を検討し、学び合いにより集団全員の学びの充実を図る。 単元半ばに技能テストを実施し、技能の習得状況をフィードバックした上で、集団技能や発展技能の習得を目指すことで、積み上げを可能とする。 写真や動画を PC で撮影し、模範との比較レポートやデータからの分析を行うことで理解を深める。

◎単元（１～数十時間の学習内容のまとまり）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元･教材	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
4 9 1	体つくり運動	○ICT機器で明示された目標、授業の流れを確認し、学ぶべき内容をイメージ化する。また、学習の効率化を図り、課題に取り組む時間をより多く確保する。 ○ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄや画像などを通して興味関心をもつ。また、課題の明確化や解決の効率化、及び探究するための資料として活用する。 ○ﾌｫﾄﾗﾝｹﾞｰｼﾞの実施を通して、感じ、読み解くなどの想像力を高め、多様な感じ方があることに気付く。	8	（知識） ※｢技能｣の評価基準は設定しない。 ･運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 （運動） 手軽な運動を行い，心と体との関係や心身の状態に気付き，仲間と積極的に関わり合うこと	･自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	･体つくり運動に自主的に取り組むとともに互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに貢献しようとすることなどや、健康･安全を確保して自主的に取り組もうとしている。
4 5	陸上競技 （短距離走･ リレー）		6	（知識）※陸上競技共通 ･技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 （技能）･中間層へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡しで自走者のスピードを十分高めることができる。	･動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	･陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康･安全を確保して自主的に取り組もうとしている。
10	陸上競技 （持久走）		6	（技能） ･持続して走る力をつけることで体力を向上させる。		
11	陸上競技 （走幅跳･走高跳）		6	（技能） ･スピードに乗った助走から力強く踏み切って飛ぶことができる。		
6 10 1	体育理論		3	（知識） ･運動やスポーツが多様であることについて理解している。 ※｢技能｣に関わる評価対象がないことから設定しない。	･運動やスポーツの多様性について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	･運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。
4 5	ダンス （フォークダンス）		9	（知識） ･ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 （技能） ･民舞や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。	･表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	･ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること作品や発表などの話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることや、健康･安全を確保して自主的に取り組もうとしている。

7 9	水泳 （背泳ぎ） （バタフライ） （個人メドレー） （リレー）	○学習ソフトを活用し、技の例示を通して学習する技の合理的な動き方のポイントを理解したり、自己の技能・体力の程度に適した課題を明らかにしたりする。 ○タブレット端末を活用した動画比較を通して、巧緻性を高めたり、問題を解決したりするための資料とする。また、協働による学習活動での活用を通して、仲間の学習を援助するなどの態度を身に付ける。 ○後追い再生機能付きAV機器の活用を通して、自己の演技を確認し、巧緻性を高めたり、課題を明確にしたりするための資料とする。 ※上記すべての内容を、各単元の学習内容に応じて、適宜活用する。	10	（知識） ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ・クロールや平泳ぎでは手と足の動き呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり、早く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎやバタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。
6	球技 （バレーボール等）		8	（知識）※球技単元共通 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 （技能） ・役割の応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることや、健康・安全を確保して自主的に取り組もうとしている。
2 10	球技 （ハンドボー） （サッカー等）		8 8	（技能） ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。		
12 1	球技 （ソフトボール等）		8	（技能） ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
11	武道 （柔道）		10	（知識） ・伝統的な考え方、技の名称や見取り、稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。 （技能） ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、押さえたりするなどの攻防をすることができる。	・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることや、健康・安全を確保して自主的に取り組もうとしている。
6 7	保健 （健康な生活と病気の予防）		6	・感染症は病原体が主な要因となって発生すること。その多くは感染源をなくすこと、感染経路を遮断する事、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取り組みが重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は正しく使用することを理解している。	・健康な生活と疾病の予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。
12 1 2 3	保健 （健康と環境）		9	・体には環境に対する適応能力があること。体の適応能力を超えた環境は健康に影響を及ぼすことがあること。また快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 ・飲料水や空気は健康と密接なかかわりがあり、飲料水や空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理する必威容があることを理解している。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。	・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価材および評価方法				・授業観察・学習プリント・定期考査・実技テスト・記録会・発表会・体力テストの記録	・授業観察・学習プリントの内容 ・定期考査	・授業観察　・学習プリントの内容